



春号
編集・発行
カルチャーネット事務局連絡先
鹿嶋市まちづくり市民センター
鹿嶋市大字宮中4631-1
TEL:0299(83)1551
FAX:0299(83)1553
E-Mail collabo1@sopia.or.jp
http://www.sopia.or.jp/collabo1

特集

第6回 鹿嶋市まちづくり市民大会 報告

第6回鹿嶋市まちづくり市民大会が、去る2月1日(日)鹿嶋市まちづくり市民センターにおいて開催されました。

約200名の参加者は、スポーツ・自然・文化の3つの分散会に別れて、大会テーマでもある「元気な鹿嶋っ子を育む市民活動」について熱心な意見交換をおこないました。

第1部では、茨城大学准教授 長谷川 幸介先生による「元気な鹿嶋っ子を育む市民活動を考える」をテーマとした講演が行われ、参加者のみなさんは熱心に聞き入っていました。

続いて行われた第2部では、「まちづくり市民・団体表彰」の表彰式がおこなわれ、鹿嶋市のまちづくりに貢献した個人5名、5団体に内田市長から善行賞が贈られました。

また、第3部では、3つの分散会に分かれ、それぞれのテーマに沿って事例発表がおこなわれた後、鹿嶋市の市民活動について熱心な意見交換がおこなわれました。

第4部の全体会では、各分散会での成果が発表され、地域での育成活動や家庭教育の大切さ、学校・地域・家庭の連携の重要性などを改めて認識する機会となりました。



▲まちづくり市民・団体表彰での主催者挨拶(鹿嶋市長 内田俊郎)



▲まちづくり市民・団体表彰を受賞されたみなさん

善行賞受賞者(5名・5団体)

<個人(敬称略)>

やしろ みこ	いしだ ひろみ	もりあか ともたか
八代 美子	石田 廣美	森岡 友孝
わたなべ まさあ	あきば しゅんいち	
渡辺 正男	秋葉 俊一	

<団体(敬称略)>

鹿島共同火力 民謡部
利根コカ・コーラボトリング(株)鹿嶋支店
大野手話クラブ
すみれ会

第1部 基調講演『元気な鹿嶋っ子を育む市民活動を考える』要旨

はせがわ こうすけ
講師：茨城大学准教授 長谷川 幸介 氏

1950年4月生まれ

こんにちは！生涯学習教育研究センターの長谷川です。

現在、力を入れている研究テーマは、「男女共同参画社会」「子どもの発達と地域の教育力」「地域福祉と介護保険制度」「団塊世代と生涯学習」などでしょうか。

茨城県内の市町村や団体等からの相談で忙しくしています。



■ 人はひとりでは生きられない

子どもには、そこにいるだけで周りを明るくする力があります。私たちが、子どもたちを育てていくとき、「子どものために何かをしてあげる。」のではなく、「子どもの力をどうやって活かしていくかを考える。」ことが、子どもたちの役に立つということなのだと思います。

人はひとりでは生きられない動物です。ひとりでは生きられない動物だから、人と人との係わり合い、ネットワークを構築しました。色々なネットワークを作ることによって、この地球上で人間が幸せに生きるための仕組みを作り上げてきたのです。ところが、この仕組み、縁（えにし）やコミュニケーション力と呼ばれるものが1970年代頃から地域の中で失われてきています。私たちは、人と人がつながりあうことによって、地球上で強い動物になれたということを忘れてはいけません。

縁（えにし）の力の集合体を社会といいます。社会に入れば、子どもは社会の一員として幸せに生きられます。社会に入るために社会の仕組みや文化を学ぶには、4つのゲートをくぐらなければなりません。私たち大人自身もコミュニケーション力を失ってきているから、これはなかなか難しいことです。

■ 4つのゲート



▲熱心に聞き入る参加者のみなさん

第1のゲートは「家庭・地域・学校」です。最近では、地域や家庭の役割が徐々に弱くなることによって、学校中心の社会化がおこなわれるようになってきました。学校には、子ども同士を比べるという特徴がありますが、家庭や地域は、違う立場の人間が別々の役割を持っていて、自分しかかけがえのない存在だということを実感できる仕組みになっています。家庭や地域の役割が弱くなってきたから、子どもたちは比べられるために生まれたような錯覚を持ってしまうのです。私たちは家庭・地域の持っている大切な仕組みを再生することに着手しなければなりません。

第2のゲートは「協働」です。子どもたちの成長の手伝いを、協働でやるためにはどうするかです。行政とは学校、地域とは団体や企業、家庭です。学校と地域がどうやってネットワークを結べるかということが勝負になるわけです。

第3のゲートは「人づくり・環境づくり・文化づくり」です。これは一般的にまちづくりを考えるときに出てくる仕組みで、自然・歴史・産業・文化がキーワードになってくるのですが、私は4匹のカエルと言っています。4匹のカエルとは、イキカエル自然、クツガエル歴史、ワカガエル産業、ヨミガエル文化です。この4匹の頭文字をとってイクワヨガエルといいます。このイクワヨガエルをまちづくりという形で実践するにはどうすれば良いのか。それを見出すには、「地域や家庭は自分にとって、かけがえのない場所なのだ」と子どもたちに実感させられるか、それが重要です。地域や家庭にとって子どもはかけがえのない存在であると同時に、子どもにとっても家庭や地域はかけがえのない場所なのだということを実感させてあげることが、家庭や地域というネットワークを再生するまちづくりにつながるのではないかと思います。

第4のゲートは「協働のまちづくりの原則」です。協働のまちづくりの原則とは、対等の原則、相互理解の原則、役割・責任分担の原則、目標共有の原則、情報共有の原則、評価の原則の6つの原則をまとめたものです。地域の大人たちは、子どもと色々な事業をやったり、子ども力を借りて鹿嶋を明るくしたりしたいわけですね。その時に、大人と子どもが対等な立場で相互理解できるかどうかです。3つの

「間」、つまり時間・空間・仲間の切り口があって、家庭・地域・学校に、それぞれ違う「間」が流れるから良いのです。私たちは、3つの「間」の中で子どもと対等にできているでしょうか。特に3番目（役割・責任分担）の原則が重要です。協働のまちづくりでは、お互いがまちづくりの主体である認識のもとに役割と責任を分担してまちづくりを進める必要があります。その中で子どもに役割と責任をもたせてやれるかということです。子どもには子どもの役割・責任があって、そして社会の一員となり、一人前になっていくのです。協働のまちづくりの原則を子どもと一緒にやれるかどうか、そのことが問われています。



▲講演会の様子

■ 家庭・地域・学校がつながりを持つことが重要

子どもは周りを明るくする力を持っている存在です。しかし、その力を発揮する機会は徐々に失われてきました。子どもたちが周りを明るくする力を発揮して、社会の一員となるための条件であるコミュニケーション力を養うためには地域力が必要です。江戸時代には、地域に7人の親がいたといわれています。お産の時の取り上げ親や名付け親など、子どもと地域とのつながりがありました。ところが今は、その関係を持たなくなり、つながりを失ってしまったから、子どもが周りを明るくする力を発揮できない状況になりつつあります。そこをどうやって取り戻すかです。これからは、家庭・地域・学校がもう一度つながりを持ってそれぞれの能力を発揮して、協働のまちづくりをどうやるかということが重要です。

第3部 分散会

第1分散会「子どもの健康・体力・食育を考える」

助言者：鹿嶋教育委員会 部長 山本 保比古 氏

■事例発表

鹿嶋市立平井中学校の野口先生より、5年前と現在の小学6年生の体力テストの結果などを基に、子どもの健康と体力についての報告と問題提起がおこなわれました。続いて鹿嶋市食生活改善推進連絡協議会の赤上会長より、合言葉の「お・い・し・い・な^{*}」になぞらえて、食育の重要性についての提言がおこなわれました。

※ おはよう、ごはんを食べましょう いただきます、ごちそうさまをいみましょう

しっかり野菜を食べましょう いばらきの食べ物を味わいましょう なかよくみんなで食事を楽しみましょう

■ワークショップによる検討

参加者44名が4つのグループに分かれ、「健康・体力」と「健康・食育」の2つのテーマについて、事例発表の内容をふまえながら、「自分の地域や家庭・学校で、誰もが簡単にできる取り組み」を話し合いました(主な意見は下表1のとおり)。

健康・体力	食育
<ul style="list-style-type: none"> ・行事に子どもを参加させる。 ・地域の人とのつながりを深める。 ・送迎をせず、学校まで歩かせる。 ・ウォーキングなど、子どもから大人までできるスポーツを普及させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食だけでも家族揃って食べるよう心がける。 ・バランスの良い献立作り。 ・料理を工夫(野菜を細かく切る等)。 ・早寝早起きを実践する。

< 表1. 主な意見 >



▲第1分散会の様子

第2分散会「自然とのふれあい・体験活動を考える」

助言者：NPO法人アサザ基金 代表理事 飯島 博 氏

■事例発表

第二分散会では2つの部屋に分かれて事例発表とワークショップがおこなわれました。

Aグループでは、山之上谷津田再生協議会の井関会長より、「山之上谷津田の米づくり体験活動」の事例が発表されました。Bグループでは、豊津地区まちづくり委員会文化福祉部の海老沢部長より、「ホテル見学会・学習会」の事例が発表されました。

■ワークショップによる検討

4つのグループに分かれて、「子どもたちが自然とのふれあい、環境を学ぶことができ、誰もが簡単に取り組める活動」について話し合い、最後に各グループごとに発表しました(主な意見は下表2のとおり)。助言者からは「今ある自然は、今に始まったものではなく、歴史や伝統的な文化があり、鹿嶋の物語(ストーリー)、つながりがあります。自分たちの地域の価値を高めて、それを伝えていきましょう。」とのアドバイスがありました。



▲第2分散会の様子

主な「子どもが自然・環境を学び、誰もが簡単に取り組める」活動

- ・野花観察を行いながら、虫・土・水などを学んでいく。
- ・ザリガニ釣り、川遊び、魚釣りなど子どもが楽しめる企画を大人(地域)が考える。
- ・田畑での農作物づくりに参加し、自然を利用することや自然の“力”を学ぶ。
- ・不法投棄物(空き缶、ゴミ)等の清掃。清掃することで、ボランティア精神が培われる。
- ・家庭でのゴミの分別をしっかりと行うことで、資源の無駄がないかチェックし、再利用できるものを学ぶことができる。
- ・鹿嶋は星がきれいなので、星の観察会をおこなう。

< 表2. 主な意見 >

第三分散会「郷土を学ぶ活動を考える」

助言者：地方自治体文化研究会「一望塾」 主宰 市川 紀行 氏

■事例発表

鹿嶋語り部の会の五喜田代表から、「文太長者」の民話が語られた後、はまなす塩づくり実行委員会の宇都宮委員長より、今年で12回目になる「はまなす塩づくり体験事業」の事例が発表されました。

■各団体の郷土学習事例

地域に残る伝統芸能や行事をいかにして保護・継承していくかを各地域の事例を交えながら話し合い、地域の伝統や文化を生かした行事の実施や、地域と子どものふれあいの必要性を確認しました（主な郷土学習事例は右表3のとおり）。

■助言者からのアドバイス

現代の子どもたちは、色々なものに興味や関心を持ち、それを実践してみるという機会が減少してきています。それによって失われつつある子どもたちの創造力を養わなければなりません。

そのためには、地域資源を生かした実体験を通して、テレビやゲームのような仮想世界ではなく、本物の世界があることを教えてあげることが重要です。

団体名	活動事例
まちづくり市民懇話会	あいさつ運動 「鹿嶋の民話」本作成
鹿島まちづくり委員会	たて穴式住居建築 縄文式土器作成
高松まちづくり委員会	高松かるた
平井まちづくり委員会	昔の遊びを通じた交流 (平井小・児童と平井シニアクラブ)
豊津まちづくり委員会	豊津かるた
波野まちづくり委員会	波野の寶（たから）巡り
三笠まちづくり委員会	たまり場事業
はまなすまちづくり委員会	大野今昔かるた

< 表3. 主な郷土学習事例 >

第4部 全体会

第4部の全体会では、各分散会でのまとめが発表された後に、講師および助言者による大会講評がおこなわれました。

大会講評で、第1分散会助言者の山本さんは「家庭で何かに取り組もうとしても、様々な要因でそれが難しいケースもあります。どのようにして地域でフォローしていくかが重要です。」と地域力の必要性を話しました。

また、第2分散会助言者の飯島さんは「鹿嶋に当たり前にあるものに対して、いかにして価値を見出していくかが重要です。鹿嶋にしかないものももちろん貴重ですが、鹿嶋にあるものすべてに物語があり、その物語は鹿嶋にしかありません。木にしる昆虫にしる、すべてはこの鹿嶋の物語、文化や歴史の中で育ったわけです。地域の自然を語る時は、ただ動植物の種類を覚えるだけではなく、その地域の文化や歴史も考えなければいけません。」と物語の重要性を話しました。



▲分散会ごとにまとめを発表



▲助言者からの講評

第3分散会助言者の市川さんは「鹿嶋にしかない歴史や自然などの地域資源はたくさんあります。ゲームのような仮想世界ではなく、地域の歴史や自然などの本物の世界を子どもたちに体験させることが、郷土の伝統や文化を守り、発展させていくうえで重要です。」と話しました。

助言者の講評を受け、講師の長谷川先生は「地域資源には、背景や物語があります。それらを本物の体験を通して伝えていくことが、次の世代に地域資源を残していく上で大切です。」とまとめました。

カルチャーネット団体イベントカレンダー (4月～6月)

※詳しくは各団体連絡先(P.8参照)までお問合せください。



文化・教育・環境

■ 4月

- 1日(水)～ 平成21年度講座開講[楽習塾]
- 4日(土) 第21回清真学園音楽部定期演奏会[鹿勤文]

■ 5月

- 9日(土) 開講式・成果発表会[楽習塾]
- 10日(日) 鹿嶋市歌謡愛好連合会・歌謡発表会[鹿勤文]
- 16日(土) 華百扇・日本舞踊発表会[鹿勤文]



スポーツ

■ 4～6月

- 毎週水・金曜日 高齢者筋力向上トレーニング[KSC]
- 毎週日曜日 チアダンス教室[KSC]
- 毎週土曜日 ジュニア女子体操教室[KSC]
- 毎週木曜日 健康体操教室[KSC]
- 毎週金曜日 ベビーママピクス[KSC]

KSC…かしまスポーツクラブ	ライフ…ニューライフカシマ21	茨大研…茨城大学鹿嶋研究センター	連絡協…鹿嶋市まちづくり連絡協議会
文化協…鹿嶋市文化協会	楽習塾…かしま楽習塾	懇話会…鹿嶋市まちづくり市民懇話会	環境ネ…かしま環境ネットワーク
国際協…鹿嶋市国際交流協会	体育協…鹿嶋市体育協会	鹿勤文…鹿嶋勤労文化会館	ま市セ…鹿嶋市まちづくり市民センター

まちづくり市民懇話会 第4期委員募集！ ～ あなたのアイデアをまちづくりに～

協働のまちづくりを推進する市民組織「鹿嶋市まちづくり市民懇話会」の4期目の活動が始まります。

懇話会では、市民ができる活動や市民と行政が力を出し合って進めるまちづくりなどについて、行政や関係者と連携して協議・検討し、実践したり行政へ提言したりしていきます。あなたのアイデアをまちづくりに生かしてみませんか。

[予定されている主な活動]

- まちづくり市民大会の企画・開催
- 専門部活動による各分野への取り組み
(環境・コミュニティ・健康・スポーツなど)

[任期]平成23年3月末日(委員報酬なし)

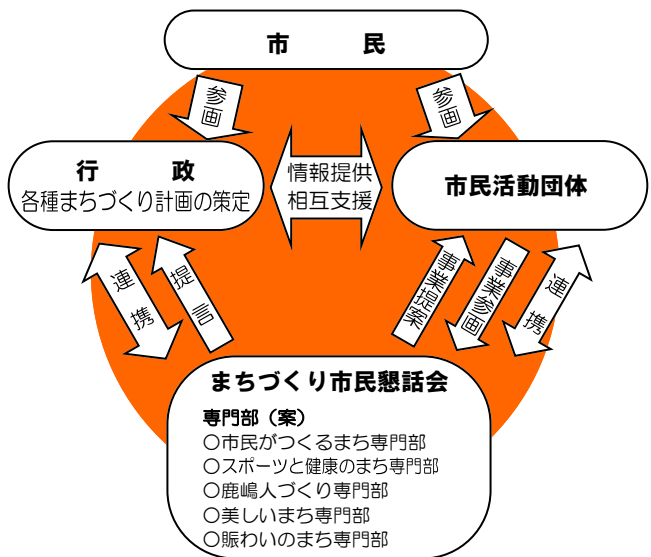
[募集人員]市内在住で20歳以上の人
(申込み多数の場合は、選考のうえ通知)

[申] 3月31日(火)までに、はがき、ファックスまたはEメール[「鹿嶋市まちづくり市民懇話会委員申込み」と題し、(1)住所(2)氏名(3)性別(4)生年月日(5)電話番号(6)応募の動機と活動したい分野(スポーツ、福祉、環境、青少年育成、観光など)を記入]で下記に申込み

[問] 鹿嶋市まちづくり市民センター

鹿嶋市宮中4631-1

TEL 0299-83-1551 FAX 0299-83-1553



これまでの主な活動

- ・まちづくり市民大会の実施
- ・あいさついっぱい運動の推進
- ・スポーツイベントカレンダー作成・配布
- ・「鹿嶋の民話」本作成・販布、「鹿嶋ものしり事典」本作成
- ・かしま環境ネットワーク立ち上げ
- ・海岸清掃プロジェクト
- ・RUN FOR FRIENDS
- ～みんなで警ドロやっちゃう?!編～

カルチャーネット団体からの募集とお知らせ

水泳教室参加者募集！

5月19日(火)からスタート！

[日時]

毎週火・金曜日(計17回)

- ① 水中運動教室 10:00～11:00
② プールメイト(クロール中心) 11:00～12:30

[参加条件]

- ・鹿嶋市在住の60歳以上の方
- ・健康診断の結果を提出できる方
- ・教室に10回以上参加できる方
- ・25メートル泳げない方



▲水中運動教室の様子

[問] NPO法人かしまスポーツクラブ

高松緑地温水プール

TEL 0299-85-1158 FAX 0299-85-1159

教育支援のNPO法人

ニューライフカシマ21からの参加者募集！

「Mori photo art club写真講座」

プロが教える写真講座。デジタル・フィルムカメラ撮影技法からプリントまでをマスターします。随時受付

「うたあそびリズム」

元NHK歌のおねえさんによるうたあそび。お友達と音楽を身体で感じて楽しみましょう！5月開講

[問] NPO法人ニューライフカシマ21

総合受付:平日10:30～17:00

TEL 0299-82-0793 FAX 0299-82-0794

E-mail nk21office@sopia.or.jp

URL <http://npo-nk21.org>

第10回アースデイかしま環境パネル展

～ みんなで守ろう！地球の環境 ～

あなたもできることから始めてみませんか？

[期間] 4月17日(金)～4月23日(木)

[所] ショッピングセンターチェリオ1階ジコ広場隣り

[参加団体]

市民団体、事業者、行政など約20団体

[問] かしま環境ネットワーク

アースデイかしま担当:倉本

TEL 0299-69-8576

エコ教室 暮らしの中で身近な香りを楽しむ ～ ハーブの育て方②(映像と講義) ～

食用ハーブの利用法「ハーブの砂糖がけを作ってみよう！」

[時] 平成21年4月25日(土) 13:30～15:30

[所] まちづくり市民センター2階研修室

[講師] 網永睦子先生(鹿嶋市在住)

(桐原春子ハーブの会講師・英国ハーブソサエティー会員他)

[費用] 200円(資料代ほか・環境ネットの会員は無料)

[募集人数] 50名(先着順・申し込み不要)

[問] かしま環境ネットワーク・エコ広場

TEL/FAX 82-5072

(TELは日曜日13:00～16:00のみ)

来年度の「リクエスト講座」

～ あなたのリクエストお待ちしております!! ～

平成20年度も、市民アンケートを行い、要望の多かった4講座を実施しました。

平成21年度の講座リクエスト募集を、5月に市報かしま・地区まちづくりセンター等で行います。皆さんの生活上の課題やまちづくりについての学習、趣味や生きがいづくりの講座など、たくさんのご意見をお待ちしております。



▲「家庭菜園講座」では大根を手に熱の入った講義に耳を傾けていました。

平成20年度実施講座

「年賀状に写真を入れる」

(2教室)

「パソコン体験
～年賀状を作る」

(2教室)

「家庭菜園講座」

「和服リメイク講座」

[問] 鹿嶋市まちづくり市民センター

鹿嶋市宮中4631-1

TEL 0299-83-1551 FAX 0299-83-1553

エコキャップ回収プロジェクトからお知らせ

○飲料水以外のキャップは回収できません。

○鹿嶋市商工会からエコキャップ回収ボックスを寄贈していただきました。

[問] かしま環境ネットワーク

アースデイかしま担当:倉本

TEL 0299-69-8576

3月1日(日)
オープン!

ー茨城県がんばる商店街活性化コンペ入賞事業ー

鹿嶋人ギャラリー

営業時間

10:00~16:00

定休日

毎週木曜日

“鹿嶋”をコンセプトにした手作り品の販売・手作り工房・情報発信拠点を併せ持つ店舗「鹿嶋人ギャラリー」が、鹿嶋神宮門前町にオープンしました。観光客と市民の出会いの拠点として、楽しい店舗づくりを目指しています。皆様のお越しをおまちしています！

「展示スペース」予定

- 3/8(日)~3/21(土) 祭頭祭と塚原ト伝の版画展
 3/22(日)~4/4(土) 書
 4/5(日)~4/11(土) ダネラ(デンマーク工芸)
 4/12(日)~4/25(土) 草木染め・着物展

レンタルブース・手作り工房・展示スペース 利用者随時受付中！

[問] 鹿嶋人ギャラリー
TEL:0299-77-8878

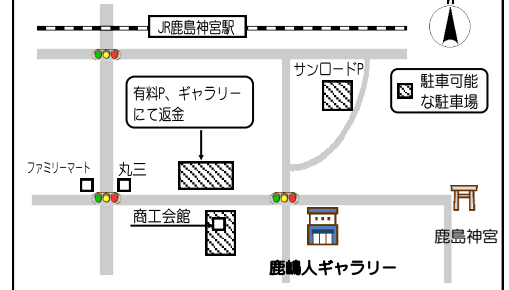
こんな商品がそろいました

はまぐり細工・ステンドグラス・織物品
 草木染め小物・七宝焼き・押し花・古代米
 書作品・キャンドル・横笛・パッチワーク
 ステンシル・陶器・とんぼ玉細工・工芸品
 まつり人形・竹細工
 きものリメイク小物など

新鮮野菜も販売中!



<ギャラリー案内図>



カルチャーネット参加団体・関連施設連絡先

鹿嶋市文化協会

(鹿嶋市役所生涯学習課内)
TEL 82-2911(内296) FAX 82-2915

茨城大学地域総合研究所・鹿嶋研究センター

(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
TEL 83-1551(内21) FAX 83-1553
E-Mail collabo3@sopia.or.jp

鹿嶋市どきどきセンター

TEL 84-0778 FAX 84-0778
E-Mail

鹿嶋市国際交流協会

(鹿嶋市役所まちづくり推進課内)
TEL 82-2911(内302)

鹿嶋市まちづくり市民懇話会

(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
TEL 83-1551

鹿嶋市スポーツセンター

TEL 83-1600 FAX 83-1633

NPO法人かしまスポーツクラブ

(高松緑地体育館内)
TEL 82-9042 FAX 82-9043
E-Mail ksttr@sopia.or.jp

かしま環境ネットワーク

(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
TEL/FAX 82-5072
E-Mail info@kashima-kankyo.net

鹿嶋市高松緑地公園

TEL 82-9042 FAX 82-9043
E-Mail ksttr@sopia.or.jp

NPO法人ニューライフカシマ21

TEL 82-0793 FAX 82-0794
E-Mail nk21office@sopia.or.jp

財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団

TEL 84-0777 FAX 83-5913
E-Mail kcs@sopia.or.jp

鹿嶋市高松温水プール

TEL 85-1158 FAX 85-1159

かしま灘楽習塾

(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
TEL 85-2601 FAX 85-2602
E-Mail kasimanada_info@yahoo.co.jp

鹿嶋市まちづくり連絡協議会

(鹿嶋市まちづくり市民センター内)
TEL 83-1551 FAX 83-1553
E-Mail machishimin1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

鹿嶋市役所

TEL 82-2911(代表)
E-Mail info@city.kashima.ibaraki.jp

鹿嶋市体育協会

(カシマスポーツセンター内)
TEL 83-1600 FAX 83-1633

鹿嶋勤労文化会館

TEL 83-5911 FAX 83-5913
E-Mail kbs@kashima.or.jp

鹿嶋市まちづくり市民センター

TEL 83-1551 FAX 83-1553
E-Mail machishimin1@city.ibaraki-kashima.lg.jp